

息域スペースポコ・ア・ポコとは

息域スペースポコ・ア・ポコは、平成10年4月に開所し、NPO 法人としては平成16年6月に設立されました。障がいのある人もない人も、すべての人が地域の中で一人の人間として生きていくことが「あたり前の社会」であり、そうした社会を作っていく一つの場になればという思いで活動されています。現在、あけぼの東町にある一軒家を拠点とし、色々な人たちが集まれる場所として、地域の中での居場所づくりを行っています。

◇名前の由来◇

【息域】

息域スペースポコ・ア・ポコでは、“息”と“域”を大事にしています。「生きる」とは、「ゆったりと息ができること」「息ができる域(場所)があること」です。生きるには、自分が住む「地域」を知ること、生きやすい「地域」を作っていくことが大切になります。

【ポコ・ア・ポコ】

ポコ・ア・ポコとは、イタリア語の音楽用語で「少しずつ、ぼちぼち」という意味です。大きな夢を抱いて少しずつ共に歩いていこうという思いがあります。

息域スペースポコ・ア・ポコでは、「誰もが暮らしやすい、生きやすい社会」作りを目標に活動しています。

息域スペースポコ・ア・ポコは
こんなことをしています！



製品はポコ・ア・ポコのおも、施設等で販売しています。
問合せはポコ・ア・ポコへお願いします。

【文化・スポーツ活動】

生け花



月に1回、お花の先生に生け花を教わってもらっています。アドバイスをもらいながら、季節の花をみんなで楽しんでいます。

語りと歌



月に1回、ボランティアさんに来て頂き、絵本・物語を楽しみ、歌をうたったり、みんなでクイズをするなど頭の体操をしています。利用メンバーさんも本読みをしています。



毎週月曜日から金曜日(午前9時～午後4時)に活動しています。主な活動は次のとおりです。

【作業・生産活動(自主製品づくり他)】

ポコ・ア・ポコでは、主に不織布(ウエス)などを利用して製品をつくっています。

(製品)

- ・三角コーナー”みずすまし”
- ・ぞうきん”おそうじ日和”
- ・新聞紙や雑誌の廃棄の際に縛るための”ポコキュット”
- ・多用途の”ふきとりーな”
- ・食用油を吸い取る”吸油玉”
- ・カーテン生地を利用した”カーテンタワシ”
- ・季節限定の”ゴキブリだんご”



音楽療法



月に1回、音楽療法士さんにお世話になっています。歌をうたったり、音楽ゲームや簡単な楽器演奏でリフレッシュしています。

余暇支援サービス

第2、第4水曜日に主にレクリエーション活動を行っています。
例)卓球、カラオケ、絵画他(在宅、施設、寄宿舍、グループホームに暮らす方へ)

情報誌「ポコ通信」

活動状況の報告のため年4回「ポコ通信」を発行し、活動の様子を発信しています。

【地域交流(他団体との交流)】

地域交流は「社会福祉」の核です。ソーシャル(社会交流、地域交流)を大事に活動しています。他施設(障がい、高齢者福祉施設等)や団体、学校との交流を大切にしています。



息域スペースポコ・ア・ポコの目指すもの

障がいのある人もない人も同じ地域の中で一人の人間として生きていくことが「あたり前の社会」であり、そうした社会を作っていくことが「ノーマライゼーション」といわれています。ポコ・ア・ポコがそうした社会を作っていく一つの場になればという思いを抱き活動していきたいと思っています。

♪【開放的な集いの場としてのスペース】

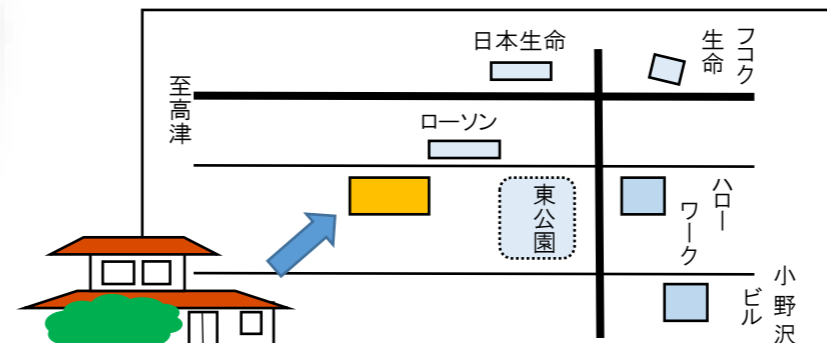
情報交換の場、出会いの場、お互いにゆったり息のつける居場所づくり

♪【利用メンバーもスタッフも豊かな出会いの中で一人ひとりがわくわくするスペース】

利用メンバーのニーズに合った創作活動、文化活動、リクレーション
まずは、お互いの思いを出し合うことから

♪【地域へ働きかけていく基地としてのスペース】

地域の人たちや行政機関への働きかけ、他の作業所等とのネットワーク作り



【問合せ先】

団体名:NPO 法人息域スペースポコ・ア・ポコ
住所:益田市あけぼの東町6-6
TEL/FAX:0856-23-3413
HP:<http://www.iwami.or.jp/ogw-3011/>

【記事をご覧になった方へ】

どうぞお気軽に覗いてみて下さい。私たち NPO 法人息域スペースポコ・ア・ポコは、行政からの委託、賛助会員さんの支援、製品販売益などで活動を継続しています。活動趣旨にご賛同頂ける方で、賛助会員さんになって頂ける方を募集しています。年会費は一口1,000円です。よろしくお願ひします。